



八戸高専だより

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16番地1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

第160号

令和3年8月



令和3年度入学式



自主探究 Activity2



校内球技大会

目次

明けない夜はない	1
3主事から	2
新入生紹介	3
1学年主任から	7
授業参観日を終えて	7
専攻科新入生紹介	8
今年の編入生・留学生紹介	9
新任教職員紹介	10
北辰寮から	11
相談室から	12
八戸で国際交流	13

男女共同参画委員会から	14
キャリア教育・支援センターから	14
図書館の今年度の予定	15
就職・進学状況について	16
学生表彰	17
「保護者の声」設置について	18
授業料の納付について	18
学生課学生係からのお知らせ	18
令和3年度公開講座	18

明けない夜はない

八戸工業高等専門学校長

圓 山 重 直

(まるやま しげなお)



高専だよりの巻頭言で、新型コロナ感染に触れるのは、今回で3回目になります。つまり、私たちの学校生活は、1年以上にわたり新型コロナウイルスにより大きな影響を受けていることになります。

本稿執筆時には依然として、コロナウイルスが猛威をふるっています。先日、鹿児島県の高校総体で大規模な感染が報告されました。青森県でも部活関係でクラスターが発生するなど、予断を許しません。このような状況下で、学生諸君の課外活動にも制約を付けざるを得ませんでした。

本校では、校内の感染防止対策を十分にするだけでなく、学生等のご家族等に感染疑い者が出たとき、その学生を公欠としています。その学生には、遠隔で授業に参加してもらうことや、別室で到達度試験を受験してもらうなど、感染拡大防止に万全を期しています。学生・教職員に万が一感染者が出ても、校内の感染者が出ることを極力防止するためです。

体調の悪い学生や、身の回りに感染疑いの方がおられるときには、速やかに連絡して頂くシステムを構築し、担当教職員が昼夜対応して本校の学生を守っております。しかし、学寮で大勢が暮らしている本校では、いつ学生や教職員が感染して、校内にクラスターが発生してもおかしくない状況であることは変わりません。

しかし、明るいニュースもあります。ワクチン接種が徐々に加速していることです。アメリカや欧米の例では、ワクチン接種人口がある一定以上になると、感染者や重症者が大幅に減少しています。本稿が出版される頃には、新規感染者や重症患者数が減少しているかもしれません。

ワクチン接種の増大と共に、コロナ禍も漸く出口が見えてきました。イギリスの文豪シェークスピアが書いたように「明けない夜はない」のです。皆さんも、コロナの夜明けに向かって、前進してほしいと思います。

本年度から、機械システムデザインコースが、

「機械・医工学コース」に改名されました。学科やコース名に「医工学」とついている高専は本校が唯一です。本校では、医療福祉関係機器の開発や共同研究を行っており、医工学に携わる教員も多いこと、医療機器に機械工学は欠かせないことなどが、コース名変更の理由です。また、青森県に医療機器関連の企業が進出するなど、医工学を専門とする人材が求められています。高専唯一の機械・医工学コースを目指す学生が、今後社会に貢献することを期待しています。

本校では、新型コロナウイルスの乾燥飛沫エアロゾル粒子を完全にシャットアウトする防護服の開発を地元企業や八戸市立市民病院と実施しております。特殊なフィルターやファンにより、綺麗な空気を防護服内とポリ袋ヘルメットに送風し、安全・快適に医療行為が可能となる防護服の実用化を目指しております。

今、キャンパス内では大規模な工事が行われています。一つは、新規の国際寮です。もう一つは、現在の北辰寮N棟を取り壊して建設する新寮です。いずれも、E棟と同様に、個室とコモンスペースを有するシェアハウス型混住寮で、留学生と日本人学生が共に生活します。この2棟が完成すると、E棟と合わせて、150人規模の混住寮ができることになります。

この国際寮は、本校学生が15歳から留学生と一緒に生活し、文化や考え方の違いを体験し、真の国際感覚を身につけます。留学生は、日本人と一緒に生活することにより、日本語を習得し、日本の生活や文化にも早く馴染めるようにすることを考えています。この国際混住寮は、本校学生がグローバルエンジニアとして活躍するための起爆剤となると考えています。

本校では、エンジニアとして海外で活躍するための「KOSEN英語」の強化にも努めています。低学年では英検準2級、高学年ではTOEICで一定の点数を取得することが求められています。

3 主 事 か ら

教務関係のお知らせ

教務主事

長 谷 川 章

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、春学期、夏学期の行事予定に変更がございました。変更にあたり、学生や保護者の皆様からご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

さて、本校では、春学期より各種学習支援活動に注力しております。各学期の到達度試験において1、2年生で英語、数学の達成度が不十分な学生を対象に週2回程度学習支援セミナーを実施しております。セミナー参加は必須で、セミナー開講日の部活動参加はできません。その他、1年生から4年生を対象に上級生が個別指導を行うメンター制度も実施しております。この制度は、不得意な科目を上級生が丁寧に指導し、さらに指導内容を担任が共有する仕組みになっております。指導を受ける学生の経済的な負担はありませんので、学習面で不安がある場合には、担任を通じてお申し込みください。

本校では、国際的に活躍できる技術者に必要な英語力の向上を図る事業「グローバルエンジニア育成事業」を実施しております。本事業の一環として、令和3年度以降2年生で受講する英語ⅡBでは英検準2級、令和5年度以降4年生で受講する英語演習AではTOEIC400点以上が必要となります。もし、要件を満たさない場合には、冬学期の補講が必須となります。夏休み中に英語力強化にも取り組んでいただきたいと思います。

学校生活について

学生主事

阿 部 恵

保護者の皆様におかれましては、学校生活における「新しい生活様式」へのご理解、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスについては、ワクチン接種などの動きはありますが、変異株の影響などから未だ先が見通せない状況です。これから暑い季節にもなり不自由をお掛けいたしますが、引き続き感染予防への協力をお願いします。なお、昨年は、コロナ関係で各種行事の中止を余儀なくされましたが、今年度は、感染防止対策を十分に講じながら、高専祭をはじめ、学生の思い出作りの機会を大切にしていきたいと考えております。

こうした中、先日、第56回全国高専体育大会の開催が決定されました。感染状況によっては競技ごとに延期や中止が判断される可能性があります

が、本校としましては、東北地区における予選会等への参加を含め、全国大会出場を目指して支援して参ります。

また、今年度も学生の思考力、判断力、表現力を高め、主体的に学ぶことができることを目指して、学生対象にワークショップを実施しております。テーマや問題の解決方法等について、多様な視点を共有しながら、グループで学生同士の話し合い、振り返り、発表等を行います。これらの活動は自己の表現や他学生の理解に繋がっていると感じております。学校生活においても担任を中心に一人一人の学生に目を向け、連携して学生支援を行っておりますが、ご家庭でも可能な限り、お子様とコミュニケーションをとって一緒に時間を過ごしていただければと思います。

学生の皆さんが健康に学校生活を過ごすことができるよう、学校全体で学生の皆さんを引き続き支援して参りますので、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

これからの北辰寮

寮務主事

松 本 克 才

本年も寮務主事を継続して行うことになりました。よろしくお願いいたします。

さてどこを見てもコロナコロナでうんざりしていることと思いますが、寮でも対策を徹底しております。その件については、寮のページに記載されておりますので、そちらをご覧ください。

ここでは、少しは明るい話題を、と思い、現在、工事が行われている寮の新棟について、ご報告させていただきます。

令和2年度に竣工予定だった新国際寮ですが、ここにきてようやく工事が本格化してきています。おそらく本年中には竣工ということになりそうです。また、これに加えてもう1棟、N棟を壊し、新しい棟の建設工事も始まっています。これらの工事が終わると全寮生の半数が入れる個室型の建物が2棟完成し、快適な寮生活を送れるようになると期待しています。

その後、さらに予算が通れば、さらに別の棟の建て替えも計画されています。

これらの工事が行われている期間は、事故のないよう、安全に十分注意し、通行していただくよう、ご協力をお願いいたします。

このように、寮構内では本格的に工事が行われ始めていますので、寮生・保護者の方々には多大なるご迷惑・不自由をおかけしておりますが、何卒、ご理解をいただければ幸いです。

新 入 生 紹 介



わずか2か月、されど2か月

L1 担任 齋 麻 子

6月14日、ようやくL1のメンバーが揃いました。待望の留学生が来日し、同じ教室で学校生活を共にすることができるようになりました。タイ人留学生2人は、Cコースですので、チューターとなるCコースの学生中心に歓迎会を企画したり、学校生活はもちろん、日本のことをほとんど知らない留学生をサポートしようとクラス全体で新たな経験を楽しんでいます。

入学して、わずか2か月間、されど2か月間。ほんの数か月ですが、L1の学生は留学生の先輩となりました。頼もしい姿を教室で見かけます。これからどんどん新しいことを吸収し、成長していくと思います。

わずか2か月間でのさまざまな体験や、その想いを2名の学生に綴ってもらいました。彼らの想いを受け止めながら、これからの5年間の成長に期待するところです。

期待と不安の入り混じった高専生活

環境都市・建築デザインコース・1年

江 渡 修 司

(三戸町立三戸中学校出身)

入学して約2か月半が過ぎ、春学期到達度試験も終了し、夏学期が始まった。今までとは全く違う生活に期待し楽しい生活を過ごしているが、楽しいだけではなく、不安なことも沢山あった。

春学期、入学まもなくだったため、勉強についていけるか、友達ができるかなどの不安がなく、「期待」はほとんどなかった。だが実際、勉強は思っていたより簡単で、ついていけた。みんなが話しかけてくれたおかげで沢山の友達ができ、とても嬉しかった。到達度試験では、やることをやって挑んだためか、結構高得点をとれた。だが、クラスみんなは自分より高得点を取っていたため、夏学期はもっと頑張ろうという気持ちが強まった。復習をしないといい点は取れないと分かったので、次の到達度試験からはもっと復習して挑みたい。

中学の頃とは全く違う生活で、不安も沢山あり、くじけることもあると思うが、何事もあきらめずにやり遂げて、高専生活を走り抜け、いい思い出になるよう頑張りたい。

新たな生活

マテリアル・バイオ工学コース・1年

高 瀬 紗 也

(十和田市立十和田第一中学校出身)

4月4日から始まった高専生活。春学期を終え、振り返ると様々なことが凝縮された2か月間だった。球技大会では、L1のみんなの知らなかった一面、意外な特技を発見することができた。体格も力も全く違う先輩たちと勝負できるか不安だったが、得点を入れることができた、試合に勝てた時は達成感があり、団結できたと思う。個々が輝くことができ、L1の仲も深まった行事となった。

高専での生活は、中学の時から変化したことがいくつもあり、慣れるのに苦労した。90分授業や進度の早い学習、データで送られるお知らせ、単位の制度、寮生活。特に90分授業は1回の講義で一気に勉強するため、一度復習を怠るとついていけなくなる。また、寮生活では、勉強の他に掃除や洗濯など、やることが多く毎日の勉強が身につかなかった。慣れない生活の中で迎えた春学期のテストを通して感じたことがある。1つは、毎日コツコツと勉強することが大切ということだ。テスト週間になってから本格的に勉強し始めたため、結果的に短期記憶型学習になった。今学んでいる内容はこれからの土台となるので、しっかりと染み込ませたい。もう1つは、わからないことは友達や先生にすぐ聞くことだ。理解できない部分があった時、復習で自己解決しようとしていた。結局テスト直前に慌てて友達に聞くということになった。これからは能動的に行動したい。

春学期を終え、高専生活では自己管理がとても大切だと分かった。勉強・部活動・学校生活を悔いのないものにするために、自分が今やるべきことを考え、過ごしていきたい。L1のみんなと互いに支え合い、1日1日を確実に成長しながら全力で楽しみたい。



留学生と共に集合写真

新 入 生 紹 介



コロナ禍の中で

L2担任 川 端 良 介

今年度の1年生は新型コロナウイルスの影響がある中での高専生活がスタートしたのですが、学校閉鎖による遠隔授業も行われず、コロナ禍前の学校生活とあまり変わらない日常を送れているかと思います。それでも、クラブ活動の時間に制限がかかっていることや、寮生活でも制限がかかっているなど、なかなか以前のようにはいきません。

ただ、勉学に関してはコロナ禍でも以前と同じように全日制の高校に比べると進むスピードが速く、課題も非常に多いため、学生も苦労している姿をよく見かけます。

苦労しながらもお互いに助け合い、支えあえるようなクラスにしていきたいと思っています。

また、私が1学年の担任をするときには必ず達成したいと考える目標があり、

①クラス全員が進級する

②高専で5年間過ごすための下地を作る

③1年を通して厚生補導委員会（学生指導）のお世話にならない

をL2クラスの学生とともに達成したいと考えています。

今年度担任として学生と関わる機会をいただいたのですが、私自身もまだまだ未熟であるため、学生とともに成長できればと思います。保護者の皆様には色々とお迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、1年間よろしくお願いします。

これからの高専生活について

電気情報工学コース1年

留 目 優 士

（八戸市立白銀中学校出身）

入学式を迎え、新たな出会いへの期待と学習への少しの不安を持ち、高専生活がスタートしました。学生生活が始まってすぐ、勉強に追われる日々が続きました。時には難しい課題に苦しむこともありますが、L2の仲間や同じコースの仲間と考えを共有しながら、一つ一つこなして勉強に励んでいます。学生生活が始まり、約2ヶ月が経ちましたが、僕たちL2クラスは、とても明るくいい雰囲気だと思います。お互いに打ち解け、笑いの絶えない楽しい日々を過ごしています。

八戸高専は専門的な知識、技術を深く学ぶことができ、自主探究という自分自身の研究もできる

学校です。そのため、5年という長く貴重な時間を無駄にしないよう、「将来何をしたいのか」、「今やるべきことは何か」という夢、目標を常にもち、向上心を持って努力していきたいと思っています。

春学期を振り返って

マテリアル・バイオ工学コース1年

越 川 葉 澄

（青森市立古川中学校出身）

入学してからあっという間に2ヶ月が過ぎ、はやくも夏学期がスタートしました。今振り返ると春学期は新しい出来事の連続でした。

高専での学校生活が始まるとともに私の寮生活も始まりました。今までの人生で長期間共同生活をした経験がなかったため、寮生活に対する不安が大きかったのですが、丁寧な先輩や仲のいい友達のおかげで、規則正しく楽しい寮生活を送れています。

学習面では高専の宿題の多さに驚きました。特に専門科目の授業は初めてのことで、四苦八苦しましたが、友達と教えあって勉強しました。また、到達度試験で出題された問題は思ったよりも難しく、自分の勉強不足を痛感しました。

今後は、楽しむときと真面目に勉強する時の切り替えをしっかりと、充実した夏学期を過ごしていきたいと思っています。



新 入 生 紹 介



奥入瀬溪流

L3担任 長谷川 耕平

八戸に赴任してから一年が過ぎて地理も少し覚ええました。南東に牛の伏せた形の階上岳、南西に剣の形の剣吉岳、西方に八個ほどの頂きがある八甲田山系が遠くに見えています。八甲田山系から流れ出る奥入瀬溪流は言うまでもなく日本を代表する美しい溪流です。私は三十年ほど前に旅行で連れてきてもらいその溪流美に魅せられました。溪流のテレホンカードを長らく持っていました。それ以来、奥入瀬は私にとって日本にたくさんある美しい溪流の代表でした。今年度から1年生の担任を引き受けさせて頂くことになりました。新入生の皆さんと接するとまさに奥入瀬溪流のような清廉な方々でした。そして落ち着いており力強くあります。今回が初めての担任であり経験豊かな先生方にいろいろとお教え頂き進めております。そしてクラスの皆さんにも助けられております。先日クラス全員が自主探究の現状を発表しました。その際に手書きの用紙をその場で写真に撮り液晶プロジェクターで投影した所、鉛筆の文字が薄くて不鮮明でした。しかし順番が下るにつれてスクリーンに映し出される文字が鮮明に見えるようになってきました。待ち時間にマジックペンで重ね書きをしたようでした。皆さんは臨機応変であり素晴らしいものを既に兼ね備えていると感じました。

高専生活の五年間で実際に使えるものを身につけてもらいたいです。試験の成績で合格点を取ることには必要ですが点数を取ることだけが目的になるとそれだけでは身につかないことが多いと思います。またある所で学習がつまらなくなることもよくあります。自分の興味あるもの、専門の柱となるものは自分で研究して授業の内容を実用につなげていくことが大事だと思います。自主探究をその一部とすることが出来ます。上述の発表会でも既に化学で学んだことを応用しようとする発表もありました。

現在の所、コロナ禍はまだ収束しておりません。また収束したとしてもその他の病や自然災害は起こります。それらの荒波の中でも前進していきたいです。その為にも元気と健康を常に保ちたいと思います。

充実した高専生活に向けて。

電気情報工学コース1年

三 上 啓 弥

(八戸市立長者中学校出身)

八戸高専に入学し、はや3か月が経ちました。まだ慣れないことがたくさんありますが、だんだんと生活に慣れてきました。

今年も去年に引き続き新型コロナウイルスが流行する中、生徒出席の入学式、遠隔授業ではなく、対面での授業を受けることができてとても安心しました。しかし、まだ油断はできないと思います。青森県内の感染者は減少してきていますが、いつ増えてもおかしくない状況だと考えています。

いつ遠隔授業に変わってもいいようにいつも以上に普段の授業でしっかりと理解していくことが大事だと思いました。この先もどのような状況になるのか予想できないので、授業でしっかりと理解できるように努力し、それでもわからなかったところは、予習・復習でしっかり身に着けていけるように頑張っていきたいと思います。

かけがえのない生活

マテリアル・バイオ工学コース1年

早 坂 結

(二戸市立福岡中学校出身)

私たちの新しい生活は、コロナ禍でのスタートとなりました。「高専」という新しい環境での生活は、常に新型コロナウイルスと隣り合わせでした。

L3クラスは、明るい学生が多く毎日がとても楽しいです。やはり、様々な地域から学生が集まっているため、十人十色で好きな物から考え方まで人それぞれでした。ですが、毎日顔を合わせて沢山話すことで、親しい人が多くなりました。そして「毎日顔を合わせて」ということは、あたりまえのようにも思えますが、このコロナ禍では、いつ無くなってもおかしくないのです。この日々は、不変的なものではなく、かけがえのないものなのです。

私は、大切な日々を失わないためにも、勉学はもちろんのこと、私生活から高め、楽しくより良い高専生活を送って行きたいです。

新 入 生 紹 介



淡々と動いていきましょう

L4担任 和田 和 幸

4年連続4回目の1学年のクラス担任を仰せつかりました。4回のうち3回はL4クラスを担当しており、少しずつ「L4クラスの門番(?)」のポジションを確立しつつある今日この頃です。1年生の皆さん、改めましてご入学おめでとうございます。今年度のL4クラスも中々に個性的なメンバーが集まりました。入学式初日に「このクラスは非常に賑やかなクラスになりそうだ」と予感しました。その予感的中し、本当に毎日賑やかです。ですが、皆さん節度を持ってお互いに関わりを持てているように感じます。また、協力的でとても助かっています。よく聞かれるのが「L4クラスはどうしてキャラの濃い人が集まるのだろうか」というコメントです。特に意図して集めている事はないのですが…(さて、この疑問は正しいのでしょうか。検証にはどうやってアプローチするのが良いのでしょうか)。L4の皆さん1年間よろしくお願ひします。話が変わりますが、孔子が説いた事がまとめられている「論語」の中に「…吾十有五而志于学。三十而立。…」という文章があります。丁度皆さんの年代の頃と私の年代がそれぞれの文章に当てはまります。私は国語が好きで…という訳ではありませんが(国語の先生すいません)、何となく頭の片隅にこの文章が残っていました。最近やっとこの言葉が“頭の中”ではなく“心の中、身体の中”から分かってきたような感覚があります。完全に分かるにはまだまだ時間が掛かると思いますが、気長に毎日を過ごして行きたいと思っています。このスペースを使って皆さんに(私自身にも)伝えたいメッセージは(1)自分が夢中になれる事を探し続けましょう(その姿勢が大事)、(2)「分かった気がする」という感覚は大事だが、簡単に「分かった」と思っではいけない、の大きく2点です。この辺りは勉強や自主探究にも関わってくる所かと思ひます。コロナ禍の影響で、まだまだ窮屈な生活が強いられる所がありますが(まだ皆さんの素顔をしっかりと見たことが無いです)、一緒に乗り切っていきましょう。

二カ月で思ったこと

機械・医工学コース1年

山 田 怜 生

(八戸市立北稜中学校出身)

高専にやっとの思いで入学することができ、入学式に緊張感を持って臨みました。ですがいざ入場してみると、先生方は和やかな表情をしていて、少し緊張はほどけました。その後にあった予行練習では、軽く雑踏としていて最初にあった緊張感はほとんどなくなっていました。しかし、本番が始まると、先生たちの雰囲気が変わり、それにつられて学生の雰囲気が変わったのを感じ、改めて「高専に入学したんだなあ」と思いました。そして、授業が始まってまず思ったのは、「正直に言って長い」と思いました。他にはどの先生も優しいと思ひました。段々と日数が過ぎていくと、授業の長さには慣れた今度は、校則が中学校と比べて緩いと感じました。最近ではクーラーもつくようになり、過ごしやすい学校だと思ひました。ですが、この学校は赤点が60点という恐ろしいことを思ひ出し、「毎日予習・復習をする」という目標を達成できるようにしたいです。

一歩ずつ前へ

電気情報工学コース1年

中 村 悠 人

(八戸市立根城中学校出身)

新型コロナウイルス感染症が国内にも広がり出してから約1年となる4月、私達は入学式を迎えることができた。しかし、特に声を出すこともなく、会場に保護者が入ることもない。そんなイレギュラーな式を終えた私は、あまり「入学した」と実感することができなかった。そのまま始まった学校生活は、驚きの連続だった。つい1カ月前まで過ごしていた中学校生活とのあまりの差を感じ、やっと入学した事を実感した。中でも、90分授業は私にとって高いハードルだ。私は集中力の欠片もないため、はじめのうちは、授業に内容が頭に入りきらないことがあった。そこで私は、改めて予習の大切さに気が付いた。事前に授業の内容を少しでも頭に入れることで心にゆとりを持ち、90分間集中力を切らさず授業を受けられるようになった。初めての連続で躓くことがあってもすぐに立ち上がり、前に進むことを忘れずにこれからの高専生活を過ごしていきたいと思ひます。

1 学年主任から

故きを温ねて新しきを知る技術者に

第1学年主任 齋 麻子

マスク着用での式典、保護者は教室でのライブ配信視聴という入学式でスタートを切りました。コロナ禍で高専入学という人生の節目の一つを、苦肉の策ではありながら、どうにかその時のベストを尽くして入学式を挙行し、現在の学校生活があります。(ライブ配信の不具合に見舞われてしまった保護者の皆様におかれましては大変申し訳なく思っております。)

さて、昨年から引き続くコロナ禍。徐々にこの混沌の中でも生きる工夫を掴みつつ、それでも、やはり感染拡大に怯えながら世界が動いている現在です。

高専生は、技術者として世の中の役に立つべき知識や技術を学んでいます。コロナ禍以前も以後も、その使命は変わらないと思います。

歴史的にみて、これまでも我々人類は感染症の脅威にさらされながら、生き抜く知識や技術を蓄え、困難を乗り越えてきました。現在も、ほんの少しの希望かもしれませんが、「ワクチン」などに希望を見出し、動き出しています。

昨年度の自主探究はコロナ禍における「マスク」や「換気」「消毒」など、このご時世ならではのテーマが多くみられました。やはり将来の技術者になるべく、今のニーズを取り入れ、目の前に立ちはだかる困難を解決しようという課題解決に着目した探究が多かったように思います。問題に直面した時、解決したい課題に立ち向かうためには、今持っている知識や技術だけでは足りないことが沢山あります。

新入生たちは、中学までとは全く異なる環境で、メールで配信される多くの情報量に格闘しつつ、Blackboardに課題を提出するなどの新たなスキルを身につけ、日々、新しい知識と技術を吸収しています。新たなものを生み出すためには、これまでの先人たちの解明した学問・技術の足跡をたどりながら、新たな知識・技術を生み出すことが必要です。目の前の課題に追われるだけでなく、将来の自らの姿をイメージして、高専生として学び取ってほしいと願っています。

授業参観日を終えて

教務主事補 森 大 祐

4月29日(木)・30日(金)の授業参観につきましては、356名の保護者の皆様にご参加いただきました。ご多用中にもかかわらず足をお運びいただき厚くお礼申しあげます。たくさんのご参観をいただきました新入生の保護者の皆様をはじめとして、ご子息の教室での学びの様子を見られて安心したとの感想をいただきました。一方で、アンケートを拝見させていただきますと、マスク着用による教員の声の聞き取りづらさや、教室の換気対策が気になったなどのコロナ禍の対応に関するご指摘もありました。アンケートでご指摘いただいた事項については、全教職員で情報を共有し、今後の授業改善に役立ててまいります。秋学期の11月8日(月)から12日(金)にかけても、保護者の皆様にご参加いただけるオープン授業週間を設定しております。今回はご参観できなかった保護者の皆様も、是非お越しいただき、学生の姿や授業の様子をご覧いただくとともに、本校の教育への忌憚のないご意見を賜れば幸いです。



専攻科新入生紹介

これまでとこれから

機械システムデザインコース1年
小豆嶋 隼 崇

どうしても本科での研究を続けたくて、専攻科の道を選んでから数か月がたちました。現在は授業や実験の課題7割、研究3割程度の配分で日々を過ごしています。本科と違い、テストは授業中に行われ、実質的なテスト週間が長くなったり、頻繁に実験や解析の実習、高難度の課題が多くなったりと、ただの本科の続きではないのだと痛感しています。

研究はトライ＆エラーの繰り返しですが、私が高専でやりたかった二足歩行ロボットに関する研究なので、改良がうまくいったときの喜びを糧に、とても楽しく取り組んでいます。

来年にはもうすでに次の進路に向けて行動していかなくてはならないので、今年のうち勉強や資格、TOEICに励むのはもちろんのこと、物事に熱心に取り組める私の長所を伸ばし、次の場所で活躍できる人材として少しでも成長したいと思っています。

コロナ禍での専攻科

電気情報システム工学コース1年
山 地 龍 生

今年度も新型コロナウイルスの影響で、マスクの着用や移動教室ごとに消毒を行っています。また、先生方が県外に行かれた場合は、遠隔になり、安心して授業を受けることができます。

専攻科では、週3日の実験やより専門性の高い授業があり、自ら積極的に学ぶことの大切さを感じています。また、クラスが5人となったことで、授業中に質問がしやすくなり、より授業に身が入るようになりました。

コロナによって、海外研修の中止や、インターンシップが県内限定になるなど、まだまだ制限された生活が続きますが、自宅で学校の勉強に加えて、TOEICなどの資格の勉強もして行きたいと考えています。

有意義な時間を過ごし、専攻科の2年間で充実したものできるように努力します。

専攻科に入学して

マテリアル・バイオ工学コース1年
谷 地 朝 伎

専攻科の授業では、本科で学んだ専門科目だけでなく、他学科にも関連のある内容を学ぶことがあります。これまであまり触れてこなかったのが馴染みが薄く、理解するのは難しいですが、専門分野以外にも視野を広げることは重要であると考えて勉強しています。また、秋には学会発表に参加する予定です。自分の研究をより多くの人に発表することで、新たな視点からの意見を取り入れ、見聞を広めることができる良い機会だと思っています。

本科の頃と比べて自由な活動時間が増えたため、その時間を使って研究を進めるか、資格や受験のために勉強するかなど、時間をどう使うかを今まで以上に意識して生活していかなければならないと思います。2年という短い期間ですが、将来に向けて多くの知識・経験を積むために努力していきたいです。

専攻科に1人で入学して

環境都市・建築デザインコース1年
赤 坂 翼

4月に専攻科に入学し、専攻科での生活にも慣れてきました。授業では、本科5年間で学んだことの復習や新しい専門知識の学習に取り組んでいます。また、多様な専門の実験も行っており、より実践的な専門知識を身につけるため励んでいます。

今年度のAZ1の入学者は、私一人なこともあり、課題や実験のレポート、テスト勉強に大変苦戦しています。先生方とのマンツーマン授業も、なかなかハードで、スケジュールや提出書類などの管理も注意深く行うように変わりました。一人での授業は、とても濃密で理解はとても深まるので、そこは良い点だと思います。専攻科入学後、本科での生活は人に支えられていたから確実に乗り越えられていたのだと痛感したので、本科よりもレベルアップできるように何事にも取り組んでいきたいと思っています。

今年の編入生・留学生紹介

八戸高専に入学して

電気情報工学コース3年
ガリブ ナミル
(ボスニア・ヘルツェゴビナ)

八戸高専に入学してから2ヶ月半が経ちました。東京から八戸へ移動後に、2週間の隔離生活をしました。その後、授業が始まって、この2ヶ月の間に色々なことを体験しました。今も日本語で話すのは大変ですが、多くの日本人の友達ができて、その友達はたくさんのサポートをしてくれて、毎日新しいことを学んでいます。色々なことがありましたが、かなり楽しく2ヶ月間を過ごせました。世界は日々つながりを深めており、様々な国の人々が交流しているので、相互理解が必要なものなのです。八戸高専では日本人の友達だけでなく、モンゴル人、アメリカ人、タイ人の友達もできました。私たち全員が異なる文化をつなぐ架け橋であり、みんなな世界をより良い場所にすることができます。このようなことから、八戸高専の一員になれてうれしいです。これからどうぞよろしくをお願いします。



よろしくね！

マテリアル・バイオ工学コース1年
パナパット リアムタゲールパニット
(タイ)

はじめまして。6月に日本に来たパナパット リアムタゲールパニット（セーフ）です。マテリアル・バイオ工学コースの一年生です。タイ出身です。

私の趣味は2つあります。1つ目は歌を歌うことです。特に、英語の歌が好きです。タイではよく歌のコンテストに出ました。カラオケに行きたいのですが、COVID-19で行けなくて、残念です。2つ目は空の写真を撮ることです。タイではたくさん写真をとっていましたが、日本では時間がないので、まだあまりとれていません。これから、日本のきれいな空の写真をたくさんとりたいです。空の写真のインスタグラムのアカウントがあるので、皆さん、ぜひフォローしてください。

まだ日本語があまり上手じゃありませんが、早く皆さんと仲良くなりたいと思っています。どうぞよろしくおねがいします。

八戸高専に来て

電気情報工学コース3年
バトゾリグ スフバト
(モンゴル)

八戸高専に来てから1週間が経ちました。新型コロナウイルスの影響で春学期の授業が全部遠隔授業となりました。遠隔授業では分からないことがたくさんありましたが、今は教室で先生方の授業を受けられるようになり、クラスの仲間たちと一緒に勉強することができるようになって本当に嬉しいです。

これまで勉強で分からなかったことは、先生方と仲間達が優しく説明してくれます。また、初めて国際寮に住んで、日本人やほかの国から来た留学生などと知り合いになりました。これからもだんだんと日本の生活に慣れて、たくさんの友達を作りたいと思っています。

高専の先生方はみんな優しくて、クラスの学生たちも親切なので、何かで困ることもなく問題なく過ごせています。これから3年間いろいろな新しいことを体験して、夢を叶えるためできるだけ頑張ります。お世話になります。よろしくお願いいたします。



たくさん話しましょう！

マテリアル・バイオ工学コース1年
ガンヤー ポンゴーンカムボン
(タイ)

こんにちは！タイ出身のガンヤー ポンゴーンカムボン（プレーウ）です。マテリアル・バイオ工学コースです。新しい経験をするために、日本へ勉強しにきました。

趣味は読書とアニメを見ることと、猫と遊ぶことです。日本はおもしろいマンガがたくさんあっていいですね！皆さん、おすすめのマンガがあったらぜひ教えてください。

タイでは、日本の歌とアニメがとても有名です！！例えば「夜に駆ける」や「Lemon」などの歌や「鬼滅の刃」や「ゴールデンカムイ」などのマンガ、どれも人気があります。私はこれらが大好きなので、皆さんと話したいです！

初めて日本に来た日はとてもドキドキしました。日本は天気もいいし、みんな優しいし、食べ物も美味しいし、それに勉強も面白いです。八戸高専で過ごすことができ、とても幸せです！！

新任教職員紹介

- ① 氏名
- ② 出身地
- ③ 所属・職名
- ④ 前職

- ① 角 館 俊 行
- ② 北海道函館市
- ③ 電気情報工学コース・助教
- ④ 東北大学 総合技術部 技術職員

今年度4月に、電気情報工学コースに着任しました、かくだてとしゆきと申します。前任地の東北大学では、多元物質科学研究所と理学研究科において、新しい実験装置の開発・改良とその応用に取り組んでおりました。

専門は表面科学で、有機分子薄膜の構造と物性に関する研究を、主に走査トンネル顕微鏡を用いて行ってきました。有機分子薄膜を用いた薄膜トランジスタやセンサの開発にも携わってきたので、今後も基礎と応用の両面から研究を進めたいと思っております。

函館を巣立って以来、進学・就職で、盛岡市（岩手大学）、つくば市（筑波大学、NIMS）、仙台市（東北大学）、そして八戸市（本校）と渡り歩いてきました。工学や科学の技術・知識だけでなく、上記経験とネットワークを活用し教育研究に邁進する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 小 船 茉理奈
- ② 岩手県二戸市
- ③ マテリアル・バイオ工学コース・助教
- ④ 産業技術総合研究所 東北センター テクニカル・スタッフ

今年度の4月からマテリアル・バイオ工学コースに着任いたしました。実は私は、7年前（2008～2015年）まで本校の学生でして、こうして教員として戻ってくることができて非常に感慨深く、不思議な気持ちです。

専門は、触媒化学、グリーンケミストリーです。環境汚染物質を無害なもの、もしくは、有用な化学品へと変換するための触媒材料や反応プロセス技術の開発を目指して、研究に取り組みたいと考えています。

慣れ親しんだ学び舎ですが、私が学生だった頃とは全然違う4学期制のカリキュラムに洗礼を受けながらも、日々業務に励んでおります。学生に一番近い教員（2021年6月現在）として、学生の皆さんの探究心や知的好奇心を最大限尊重しながら、授業や実験、研究のサポートをできればと思っております。よろしくよろしくお願いいたします。

- ① 金 子 賢 介
- ② 大分県
- ③ マテリアル・バイオ工学コース 助教
- ④ 京都大学大学院 薬学研究科

今年度6月から、マテリアル・バイオ工学コースに着任いたしました。北海道大学にて学位を取得後、1年間のみではありますが、本校の特任助教として在籍した経験があります。その後は、京都大学などで研究経験を積み、この度縁あって再び本校に着任することとなりました。

専門は天然物化学という分野で、生物が産生する様々な有機化合物の単離・分析・構造決定や活性評価を行うものです。自然が長い年月をかけて培ってきた化学戦略を生物学や有機化学を駆使して紐解き、様々な用途で応用を目指していきたいと考えています。

本校に1年間在籍した経験がありますが、その頃より様々な状況が変化しており、新任として校務や研究に努めてまいりたいと思います。自然豊かな青森で、学生の皆さんと一緒に勉強していきたいと考えています。

- ① 大 里 辰 希
- ② 千葉県
- ③ 電気情報工学コース・助教
- ④ 千葉大学大学院 融合理工学府 博士課程

令和3年度4月から産業システム工学科電気情報コースに着任いたしました。学位は千葉大学にて取得後、本校に着任しました。

専門は「電力変換」で、主に高周波電源回路の解析および設計に関する研究に従事しております。

電源回路に対して数値モデルを導出し、高速に回路パラメータを得ることできる回路設計ソフトウェアの構築を目指しています。

今まで教員としての経験は全くなく不安なところは多々ありますが、挑戦することを心掛けて、学生の皆さんと愉しく勉学していきたいと考えています。また、私は台湾に留学していたので、日本と中国の国際交流にも積極的に協力できればと思います。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 老久保 逸
- ② 青森県
- ③ 学生課教務係
- ④ 所沢市立北秋津小学校 教諭

今年度4月1日付で着任しました、学生課教務係の老久保逸と申します。大学入学と同時に一旦上京しまして、卒業後は埼玉の小学校で教師等の仕事を経て生まれ育った青森県八戸市に戻ってきました。八戸(青森)での久しぶりの生活は懐かしくもあり、しかし新鮮な気持ちも生まれる面白い感覚に包まれています。

学校教員としての経験はありますが事務職員としての経験は今回が初めてであり、今のご時世もあり日々新しい業務に取り組む毎日です。4学期制という制度や専門性の高い施設等に触れ驚くときもありますが、高専の教育理念や環境をきちんと理解し、学生のみなさまの実践的な教育の手助けができるよう日々努めていこうと考えております。みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

北

辰

寮

か

ら

北辰寮 総代より

電気情報工学コース5年 豊島 遼太郎
(洋野町立種市中学校出身)

感染症の対策を寮の生活に取り入れてから約一年になります。生活のしやすさや流行の規模によって様々な対策をしてきました。

今年度から寮に入ることになった1年生は春先こそ戸惑い等あったと思いますが、最近は寮生活に慣れてきている様子も見られ安心しています。一方、慣れてきた中でも感染症対策には一層の注意を払っていきましょう。

最近は県外移動も増え、特に5年生は進路関係で多くなってくると思います。移動先での消毒やマスク着用はもちろん人混みに行かない等の対策をよろしくお願いします。

課外活動の面では寮祭の延期や高総体の参加辞退など明るいニュースばかりではありませんでした。それでも部活動は制限がある中ではありますが活動できていますし、球技大会も行うことができました。

昨年の今頃と比較すると確実にできることは増えてきています。また全ての活動をできるようにするためにも、感染症対策に一丸となって取り組んでいきましょう。

北辰寮 指導寮生代表より

電気情報工学コース5年 神 優音
(弘前市立新和中学校出身)

今年もまた新学期が始まりました。1年生は親元を離れ、寮生活開始から約2か月経ちましたが、どうでしょうか？実家が恋しい人もいるでしょうし、逆に自由を謳歌している人もいるかもしれません。まだ自分の寮生活スタイルを手探りしているかと思いますが、柔軟に対応していきましょう。何か困ったことがあったら、お気軽に近くの指導寮生や寮務委員の先生に相談してくださいね。

寮では、共同生活や集団行動の大切さを学ぶことができます。家族ではない人、言ってしまうと他人と生活を送る中で、いろいろなことを考慮することが必要とされるからです。それを意識下でも無意識下でも考え、行動することはコミュニケーション能力の向上につながります。実家が遠

い等の理由から寮生活を送っていますが、友達との距離が近いことや通学時間が短いなど、お得な感じもします。

現在はコロナウイルスの影響もあり、検温や消毒など気をつけるべき項目は多いですが、他の寮生のためにも頑張っていきましょう。具合が悪いと感じたときは早めに保健室を訪ねてくださいね。

北辰寮における 新型コロナウイルス感染症対策について

寮務主事補 中村 雅徳

北辰寮は7月現在299名が在籍しております。本年度は新棟建て替え工事本格化しており、十分に広い生活空間の確保は困難な状況です。寮生の健康と安全を守るべく、昨年度に引き続き、以下の安全対策を実施中です。

(1) 毎朝・毎晩の検温報告

各自で検温をして、居室前の検温記録簿に記入する体制を徹底しております。

(2) 学寮内でのマスク着用の徹底

学寮内では居室ではできる限りマスクを着用し、咳エチケットの実践を行っています。

(3) 共通区域利用時間の分散

食事、入浴時の密集を避けるため、グループに別け、時間交代制を導入しています。また、フロア集会等の分散開催も実施中です。

(4) 他室訪問の禁止

密集、密接を避けるため、不要不急の他室訪問は原則禁止しています。

(5) 寮祭等各種イベントの延期

本年度も、安全上の観点から6月中旬に予定していた寮祭は延期となりました。多くの寮生が楽しみにしているイベントですが、実施は今夏以降の状況を鑑みてとなります。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

寮生の皆様には大変不自由な寮生活を強いておりますが、新型コロナ感染とその拡大防止のため、引き続きご理解、ご協力をいただけますと幸いです。



相談室から

相談室長 河村 信治

相談室では、心身の変調や悩みのある学生に対して、**カウンセラー**等による支援を行っています。**精神科医**や、**臨床心理士・公認心理師**の資格を持つカウンセラーが定期的に来校していますので、安心してお気軽にご相談ください。コロナウイルス禍の収束が見通せない中、誰もが不安やストレスを抱えた生活が長く続いています。そうでなくても、青年期は心身が大きく変化・成長する時期であり、悩みの種も尽きないものです。

相談室は夏休み中も通常通り開室しています。相談がある場合は、まず電話かメールで相談員が保健室にお問い合わせください。カウンセリングを希望する場合は、日時を予約いただいたの対応になります。下記に示した本校ホームページにカウンセラー等の来校日が掲載されていますので、ご確認ください。

相談は原則として学校にて「**対面相談**」で行います。しかしどうしても来校できないような場合は**インターカー（窓口）**にご相談ください。

さらに本校では、**社会福祉士**の資格をもつ**スクールソーシャルワーカー（SSW）**が週3回来校しています。家庭や学外でトラブルが生じた場合などには是非ご相談ください。

いずれの場合も**秘密は守られます**。

小中学校で**発達障害**等の診断を受けている場合や、発達障害等が疑われ支援が必要と思われる場合にも相談室にご相談ください。**合理的配慮**が必要な場合はご相談の上支援体制を整えるなど、適切に対応していきます。

相談室の担当は次の通りです。

◎カウンセラー

笹 博（医師・本校客員教授）
土屋 文彦（臨床心理士）
中西 智子（臨床心理士）
嶋野知恵子（公認心理師）

◎スクールソーシャルワーカー（SSW）

正部家 千穂子（社会福祉士）
原則毎週月・木・金曜日
校内に「カウンセラー来校日のお知らせ」ポス

ターや、各教室内に「相談室からのお知らせ」も掲示しています。

◎インターカー（窓口）TEL 0178-27-7236

石川 久美子（看護師、保健室）
吉田 左千枝（看護師、保健室）

◎相談員

各コースの教員を配置し、保健室の談話スペースにて日替わりでご相談に応じます。夏学期の懇話会担当日は次の通りです（授業日の16:00～17:00）。

月曜日：田口 恭輔 電話 0178-27-7296
（機械・医工学コース）

火曜日：馬渡 龍 電話 0178-27-7309
（環境都市・建築デザインコース）

水曜日：中ノ 勇人 電話 0178-27-7288
（電気情報工学コース）

木曜日：河村 信治 電話 0178-27-7240
（総合科学教育科）

金曜日：川口 恵未 電話 0178-27-7434
（マテリアル・バイオ工学コース）

◎教職員向け相談員

下に示す時間、場所で相談に応じます。主に教職員向けですが、学生でも相談できます。

赤垣 友治 相談員（名誉教授）

木曜日15:00～17:00

赤垣教員室（M棟4階）

吉田 光男 相談員

月曜日10:00～12:00

ものづくりセンタープログラム室

八戸高専 相談室ホームページ

<https://www.hachinohe-ct.ac.jp/schoollife/soudan/index.php>

☆学生本人と保護者の方々が利用になれる高専機構の「**KOSEN健康相談室**」フリーダイヤル**0800-000-2228**もあります。
（24時間対応・年中無休）



令和3年度 八戸で国際交流

国際交流センター長 横田実世



昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により、世界中が何をどうすればいいのかで翻弄され、模索の1年でした。それに伴い国際交流センターも従来の海外派遣・受入も中止とし、オンラインによる国際自主探究、SDGsセミナーなど学生のグローバル意識向上の学びを止めないプログラムを提供してきました。

八戸にいても国際交流は可能です。本校は幸運なことに外国人留学生在校し、国際寮に住んでいますので様々な形で国際交流ができます。異なる文化・意見に触れ合うことができ、自分の立ち位置を考えさせられます。これがグローバル人材への一歩です。

グローバルエンジニア育成のためのプロジェクトを今年度もさらに展開していく予定です。国内でも実施可能な国際交流、以下はその例です。学生の皆さんも是非このチャンスを活かし、積極的に参加しましょう。

1. オンラインによる国際自主探究：

海外の提携校（シンガポール・モンゴル・タイ）や会社と協力して、特に英語の苦手な学生さんでもSDGsを意識した海外自主探究を遠隔で行えるよう準備を進めています。

2. 新留学生：今年度はタイ人留学生在Cコースに2名（L1）入学、Eコースにボスニアヘルツェゴビナ出身とモンゴルからの学生計2名が編入しました。留学生は専門分野と日本語を勉強しています。皆さんクラスや寮などで見かけたときは「日本語」で話しかけてみてください。

3. グローバルラーニングセンター（GLC）：

GLCでは資格試験取得や、英語力を伸ばしたい人だけでなく、英語を不得意とする学生の個別指

導を行っています。

4. チューター・メンター：留学生は第2外国語である日本語で日本人学生と同じ専門授業を受けています。これは日本人が海外の大学で専門科目を学ぶのと同じことです。また日本人には当たり前なことは留学生にとって「当たり前」ではありません。チューターは留学生の生活面におけるサポート、メンターは学業におけることをサポートします。チューター公募は年1回、主に春学期にクラス担任の声かけや周りの推薦等で決まります。メンターは留学生がサポートを必要とする科目に応じて探します。留学生の日本語学習のため、サポートは日本語で構いません。このような取り組みは将来グローバルエンジニアとして活躍する上で重要です。

5. ホームステイ：お盆や年末年始の学校閉鎖時に自国に帰る留学生もいますが、現在はコロナ感染拡大のため帰国できません。日本国内の旅行もままならない状態です。そこで、昨年度から本校学生宅に留学生が滞在し、お正月体験や、日本の家族と過ごして、日本や八戸の文化を楽しんでいます。数日の短期受入でも構いません。

興味のある方は以下の部署にお声がけ下さい。

【問い合わせ先】

- 国際自主探究
…国際交流センター、吉田先生(G科)
- GLC …英語科、国際交流センター
- チューター・メンター
…クラス担任、教務係
国際交流センター
- ホームステイ…総務係、吉田先生(G科)

男女共同参画委員会から

今年もSciTech Girlsをよろしく

男女共同参画委員長
戸田山 みどり

八戸高専は昨年度から2年間の予定で科学技術振興機構（JST）の次世代育成事業の一つである女子中高生の理系進路選択支援事業に「はばたけSciTech Girls(サイテック・ガールズ)」というタイトルで参加しています。昨年は感染症の蔓延のため予定の半分も実現できませんでした。今年度は対策を工夫して、一人でも多くの皆さんにこの事業の趣旨をお伝えしたいと考えています。

この事業はタイトルにもある通り、中学・高校の女子生徒さんが理系の進路を選択し、将来はいわゆる「リケジョ」として活躍して欲しい、という意図のもとに企画されています。そのため、既に高専に入学している本校の女子学生は、対象ではありません。ただ、教育現場の立場からすれば、高専に入学しただけでは不十分です。無事に卒業し理工系分野に進学・就職してはじめて、理系の人材になった、と言えるでしょう。したがって、本校の女子学生の活動を応援し、将来の夢を育んでもらうことも大事な使命であると考えています。

そこで、この事業を広く知ってもらうために、また、本校の女子学生の活動を紹介するために、八戸高専のホームページの中にSciTech Girlsのページを用意しました。ホーム画面にある下記のパナーをクリックしていただくと、女子学生の活躍を紹介する動画や、イベントの情報、活動の報告、そして、中高生に理系に興味を持ってもらえるよう理系のテーマや人物に関する本を紹介する「リケイの本棚」コーナーをご覧いただけます。この事業の広報のために作成したリーフレットでは、女子学生へのミニインタビューや活躍するOGを紹介しています。

このサイトは少しずつ内容を充実させておりますので、ぜひ時々のぞいてみて下さい。



キャリア教育・支援センターから

就職試験・編入学試験に向けて

キャリア教育・支援センター長
戸田山 みどり

今年の5年生は、見通しのつかない感染症の状況を反映してか、例年に比べて進学希望者が多く、約5割となっています。これは、全国的な傾向のようですが、入学定員が増えているわけではないため、できるだけ確実に合格できるよう、直前まで希望者には個別指導を続けています。

進学希望者の増加傾向は、下の学年にも及びつつあるようです。そのため、今年から1年生から取り組める進学希望者向けの数学の自習用プリントを用意しています。また、進学希望者向けの受験対策説明会の対象を1年生からとし、意欲のある学生が順調に学力を伸ばすことができるようにしています。昨年度2回目だった14年生希望者対象の数学の実力試験は恒例行事となり、今年度は12月に実施する予定です。

また、6月には岩手大学理工学部前学部長をお招きして大学説明会を実施したほか、今年も東京工業大学や東北大学、受験者の多い長岡技科大や豊橋技科大の講演会や説明会を計画しています。

今年の5年生の就職希望者が減った原因の一つに、昨年はコロナ禍の影響でインターンシップに参加できなかった学生が多かったことも挙げられます。今年も対面のものは青森県内のみ参加可能ということですが、Webで実施される職場見学的なものにも積極的に参加していただく方針です。5月のインターンシップの説明会では、単位との関係も含めて、手続きなどを解説しました。あわせてビジネスメールの講座も実施、7月にはジョブカフェ青森より講師をお招きしてのマナー講座もあり、あと1年を切った就職試験や進学受験に向けて対策を講じています。

このような取り組みの積み重ねがより良いキャリア選択に繋がることを期待しています。



図書館の 今年度の予定



図書館長 工 藤 憲 昌

今年度の図書館の活動については次の事を計画しています。

<読書習慣を身につけるための各種行事の充実>

- ・ブックハンティング
- ・ビブリオバトル
- ・ニューズレターの発行
- ・学生会図書委員会の活動支援

<学外行事への参加>

- ・青森県高等教育機関図書館協議会（オンライン会議）

<令和3年度図書館委員会行動計画>

- ・交流室の積極的な活用の推進
- ・読書習慣を身につけさせるための各種行事の充実
- ・蔵書点検の実施
- ・資格試験コーナーの充実

<その他>

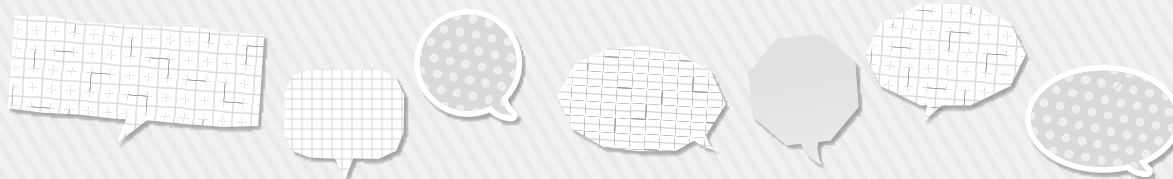
八戸ブックセンターとの連携「ひと棚選書」

本のまち八戸推進の拠点施設「八戸ブックセンター（H28秋に開設）」内に「ひと棚」を設置し、来館者の「本との出会い」創出の試みとして、市内の高等教育機関の教員が推薦する書籍が、常設ブースに陳列されます。

本年度も本高専教員の皆様から図書を紹介して頂く予定です。

寄贈図書の受け入れについて

本高専教職員等3名から図書の寄贈の申し込みがあり、受け入れさせていただきました。ありがとうございました。



就職・進学状況について

産業システム工学科長
進路支援等委員長
野 中 崇

1. 現在の進路

今年度の本科5年生および専攻科2年生の6月17日現在の進路状況を表1および表2に示します。求人社数は昨年度とはほぼ同程度ですが、昨年度から続く、新型コロナウイルス感染拡大とその対策による社会情勢の影響もあり、一昨年度よりは若干減少しています。

求人倍率は依然としてどのコースも高く、高専生に対する企業からの期待の大きさがうかがえます。現在、本科全体の就職希望者の割合は47%、進学希望者の割合は53%です。昨年度は進学希望者が46%でしたので、進学希望が多くなりました。また、専攻科全体の就職希望者の割合は52%、進学希望者の割合は48%です。昨年度の進学希望者の割合は58%でしたので、専攻科は減少しました。

2. 今年度の就職活動

一昨年度まで、日本経済団体連合会（経団連）の「採用選考に関する指針」で、企業の広報活動は3月1日以降、選考活動は6月1日以降、正式な内定日は10月1日以降と定められておりました。昨年度から「指針」は策定されなくなり、かわりに政府より、前述した日程を踏襲するように企業に要請しております。ただし、こうした日程よりもかなり前倒しでの選考が行われてきた実態もあり、今年度も3月から選考を始める企業もあります。多くの場合は、4月中に面談等が行われ、5月の連休前後に合否の連絡をいただいております。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの企業でWebによる面接試験を実施しています。

3. 進路を決めるにあたって

本校では、キャリア教育・支援センターが中心となって、キャリア教育プログラムの充実をしてきております。学生自身が自らの将来像を描き、

そのためにどのような道筋が考えられるか、様々なキャリア教育プログラムを通じて検討することが可能になっております。

具体的な進路の決定は、4学年の11月に実施される保護者懇談会において、就職、進学の選択を学生、保護者、担任あるいはコース長との三者面談で決定します。3月上旬には応募先企業を決定します。応募は学校推薦と一般応募の2つの方法がありますが、多くの学生は学校推薦で応募しています。

卒業後のキャリアについて、低学年から準備をはじめておくことが大切です。進学を希望する学生は、低学年からの専門科目の基礎となる数学、物理・化学に、英語の学習が大切です。大学で開催されるオープンキャンパスに参加するなどして大学を訪れてみるとよいでしょう。また、進学相談担当者に相談することも可能です。就職を希望する学生は、高専には多方面からの企業の求人がありますので、早めに企業を調べ、会社見学等に参加して、自分が希望する分野、企業を見つけるように心がけてください。

表1 本科進路状況（6月17日現在）

コース		M	E	C	Z	計
卒業予定者数		35	36	43	45	159
就職	希望者数	14	18	18	24	74
	求人社数 (昨年度同時期)	649 (692)	665 (730)	466 (470)	499 (494)	2279 (2386)
	求人倍率	46.4	36.9	25.9	20.8	30.8
	進学希望者数	21	18	25	21	85

表2 専攻科進路状況（6月17日現在）

コ ー ス		AM	AE	AC	AZ	計
修了予定者数		2	7	7	7	23
就 職	希望者数	2	2	2	6	12
	求人社数 (昨年度同時期)	608 (624)	624 (659)	437 (428)	472 (456)	2141 (2167)
	求人倍率	304.0	312.0	218.5	78.7	178.4
	進学希望者数	0	5	5	1	11

学 生 表 彰

○令和2年度 学年学業成績優秀賞

氏 名	進 級 後 ク ラ ス
【1年次成績部門】	
阿 部 祐 輔	機械・医工学コース2年
三 上 朝 陽	電気情報工学コース2年
柿 崎 元 徳	マテリアル・バイオ工学コース2年
小 森 真 奈	環境都市・建築デザインコース2年
【2年次成績部門】	
増 尾 桃 佳	機械システムデザインコース3年
熊 谷 大 智	電気情報工学コース3年
吉 田 幸 生	マテリアル・バイオ工学コース3年
石 橋 知 士	環境都市・建築デザインコース3年
【3年次成績部門】	
田 中 天 統	機械システムデザインコース4年
新 田 彩 奈	電気情報工学コース4年
上 平 匠 真	マテリアル・バイオ工学コース4年
飯 田 璃 咲	環境都市・建築デザインコース4年
【4年次成績部門】	
黒 沢 航二郎	機械システムデザインコース5年
類 家 健 永	電気情報工学コース5年
北 上 偉武暉	マテリアル・バイオ工学コース5年
熊 谷 風 音	環境都市・建築デザインコース5年
【専攻科成績部門】	
中川原 拓 海	電気情報システムコース2年
織 笠 歩 夢	環境都市・建築デザインコース2年

○三ヶ年皆勤賞

機械システムデザインコース	電気情報工学コース	マテリアル・バイオ工学コース	環境都市・建築デザインコース
荒 沢 優 真	青 山 豊 茂	秋 山 琴 見	飯 田 璃 咲
淡 路 侑 香	浅 利 かなた	上 平 匠 真	石ヶ森 涼 介
小笠原 照 悟	新 谷 大 翔	小 森 勇 真	今 泉 有 人
加倉井 陽	大 橋 亮 哉	須 藤 愛 佳	小 原 叶 夢
枇 澤 慎之介	沖 澤 孝之介	平 賢 知	鈴 木 颯 人
佐 藤 久 仁	川 村 滲 涉	根 城 響 子	高 山 夏 姫
下井田 和 己	工 藤 温 紀	福 田 知 子	土 岐 翔 洋
杉 浦 純 也	佐 藤 光 史	松 橋 尚 哉	
高 橋 光 太	新 田 彩 奈	宮 崎 悠 聡	
田 中 慎 也	立 崎 達 也		
對 馬 健 太	舘 隼 人		
西 晴 菜	舘 野 聖 南		
西 山 航	千 葉 祐 敬		
若 竹 勇 人	中 村 優 斗		
	服 部 慎 司		
	山 一 真 也		

「保護者の声」設置について

保護者と学校の連携を密にし、よりよい教育を推進するため、下記のとおり「保護者の声」を設置しております。

お子さんの就学上のこと、学校に対する要望、ご意見など、無記名で結構ですので、郵便・電話・FAX・e-mail等で随時下記の連絡先までお寄せください。

《連絡先》

八戸工業高等専門学校 総務課総務係
TEL 0178-27-7223 FAX 0178-27-9379
e-mail:somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

授業料等の納付について

後期分授業料の口座振替を、10月26日(火)に行います。(就学支援金額未決定者、授業料免除申請者を除く)

寮生は、10月～3月の寄宿料及び学寮運営費も併せて振替になります。

金額を確認のうえ、振替日前日までに届出口座にご準備ください。

単位：円

授業料		寄宿料		学寮運営費		振替
1～3年	4年～	複数室	個室	一般寮	国際寮	手数料
117,300	※2 117,300	4,200	4,800	※3 63,300	※3 80,900	68
※1 57,900						

※1 就学支援金受給対象者の例(加算支給なしの場合)

※2 授業料免除申請者(高等教育の修学支援新制度を含む)は、免除決定額に応じて減額・免除となります。

※3 学寮運営費の金額は変更となる可能性があります。

授業料等を期日(前期分9月、後期分3月)までに納付しない者は、授業料等未納により除籍などの処分になる場合がありますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】総務課財務係 TEL 0178-27-7228

学生課学生係からのお知らせ

令和2年4月から実施された高等教育の修学支援新制度に本校も対象となっております。本科4年生以上の学ぶ意欲がある学生で、家計の収入等の要件を満たす場合には、支援区分に応じて、入学科及び授業料の減免と給付奨学金による経済的支援を受けることができます。

秋頃に日本学生支援機構が二次採用を行う予定となっておりますので、日程等の詳細が分りましたら学校HPや学生掲示板等で周知しますのでご確認をお願いいたします。

また、現在申請可能な奨学金等の各種経済支援につきましても学校HPや学生掲示板等で随時更新しておりますので、併せてご確認をお願いいたします。

【各種経済支援関係問い合わせ先】

学生課学生係 TEL 0178-27-7235

令和3年度 公開講座

公開講座

<https://www.hachinohe-ct.ac.jp/info/office/openlecture/>

- (1) 絵本を英語で読んでみよう
日 時：8月7日(土)・10月30日(土)
対 象：4歳～小学3年生程度の児童及びその保護者
- (2) 環境都市・建築デザインコース公開講座シリーズー建築模型をつくるー
日 時：9月20日(月・祝)・10月2日(土)
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (3) 環境都市・建築デザインコース公開講座シリーズーペーパーブリッジをつくろうー
日 時：9月25日(土)
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (4) メカnoワールド体験塾 Aコース
日 時：10月3日(日)
対 象：中学生、中学校教員
- (5) メカnoワールド体験塾 Bコース
日 時：10月30日(土)
対 象：中学生、中学校教員
- (6) 化学の学校
～マテリアル・バイオ工学の世界へようこそ!～
日 時：10月30日(土)・10月31日(日)
対 象：中学生、保護者、中学校教員

※参加人数等により、中止または内容等を変更する場合があります。



